

エビデンスに基づく 行動支援・実践コミュニティ



講師

庭山和貴

大阪教育大学 総合教育系・准教授
博士(心理学)、公認心理師

児童生徒の問題行動や心理的な問題の予防・減少効果が実証されている“学校規模ポジティブ行動支援（SWPBS）”を、日本の学校現場においてどのように実行・持続させていくかについて、複数の自治体・学校と連携して実践研究を行っている。

日本ポジティブ行動支援ネットワーク副会長。
2016年度日本教育心理学会優秀論文賞、
2020年度同学会城戸奨励賞受賞

2025年

12/21 日 9:30~12:30
(途中休憩あり)

『エビデンスに基づく行動支援・実践交流会』を下記のとおり開催いたします。今や日本全国に広がりつつあるポジティブ行動支援について、地域を越えた情報共有と実践者のみなさまの繋がりをつくる機会です。ぜひ、ご参加ください。

スケジュール

実践報告

PBSを実践している4校（大阪府、滋賀県、山口県、宮崎県）の先生方に実践報告をして頂きます。

交流会（ラウンドテーブル）

グループごとにPBSを推進する上での悩み・工夫の共有や、実践内容の共有を予定しています。PBSに関するグッズやマトリクスなどがあれば、写真等で構いませんのでぜひお持ちください。まだPBSを学校全体で実践されていない場合も、お気軽にご参加ください。

まとめ

申込方法

以下URLもしくはQRコードより
予約フォームにアクセスしてください
<https://forms.gle/YoQ2NSms2DhxNbmWA>



対象・定員

教育委員会関係者・学校関係者
(対面：150名)

※先着順。定員に達し次第締め切り。

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
西館1階ホール

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、徒歩約10分
JR寺田町駅下車、徒歩約5分



申込期限：12月15日（月）まで